

【アマチュア大賞 受賞作】

「蠢」 生野 美和



アマチュア大賞

174

蠢く

きょうから、豊和銀行公募アマチュア絵画展

優れた描写力、高度な技術

審査評 大分市美術館長・菅章

豊和銀行主催の第29回公募アマチュア絵画展が、4日から大分市王子中町の豊和銀行本店8階で開かれる。11日まで。16歳以上のアマチュア作家を対象で日本画や油絵など175点の全応募作品が並ぶ。審査員を務めた大分市美術館の菅館長による総評と上位入賞作の個評は次の通り。

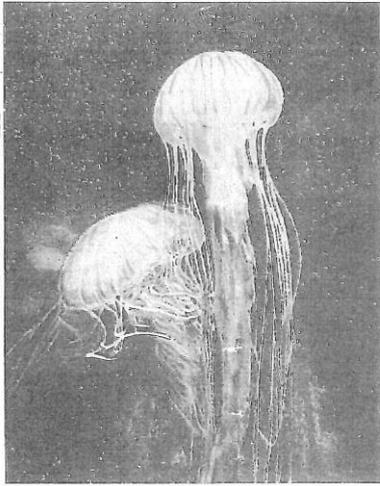
●総評●

今年は出品数が昨年より15点多い175点で、作品レベルも向上していることが実感できた。特に、若い人の出品

が増えたことは何よりもうれしい。描写力に優れた作品が多く見られる中、表現主義的な作風や抽象的な作品など多様な表現を尊重することを心掛けた。受賞作品はいずれも高度な技術に加え、新たな挑戦や革新性、独自性なく期待できる賞賛を示していた。しかし、美術には絶対的な価値など存在しない。それぞれが自分の信じる表現、自らが追い求める世界に向けて制作を継続することを願っている。

●個評●

▽アマチュア大賞「轟く」



アマチュア大賞 生野美和「轟く」

生野美和（別府市）2匹のクラゲが揺らめきながら水中を浮遊している様を描いた唯一の水墨画作品。漆黒の背景に金粉をあしらうなど、通常の水墨画では珍しい挑戦が見られる。クラゲの半透明の質感とどこか有機的な形状が的確に表現され、単なる描写にとどまらず生命や宇宙をイメージさせるスケール感を持った作品。